

～安全・安心の労働環境をめざして～



感性を高めるための
「安全・安心」の見える化活動

～はじめに～

大規模建設現場においては全作業員の安全意識を向上させることが労働災害の防止に繋がる。当作業所では事故0を目指し、安全・安心に対して「見える化」を図り、作業員一人ひとりの危険に対する「感性」を高め、安全意識を向上させることで、労働災害の防止を図った。活動に際しては、以下の4点を重点活動項目に定め、活動を行った。

①危険の「見える化」

…現場内の危険箇所を様々な手法で見える化することで、注意喚起を行う。

②情報の「見える化」

…作業・安全に関する様々な情報をプロジェクターに投影・ポスターで見えることでより判りやすく伝達する。

③安心・快適の「見える化」

…熱中症・感電災害の防止を重点的に行い、様々な活動を通じてアピールし、注意喚起を行う。

④体感教育・災害事例紹介による危険の「見える化」

…普段行っている作業にどのような危険があるかを疑似体験したり実際に起こった災害を判りやすく説明することで類似災害の防止を図った。

①危険箇所の「見える化」

…安全通路・立入禁止区域については、バリケードの色によって区画の方法を定めている。またつまづきやすい段差部については、指差呼称を行い声と動作で安全を確認できるように、指差呼称マークを明示している。



立入禁止区画の明示
(区画看板の掲示と赤色バリケードの使用)



段差部の指差呼称マーク

②情報の「見える化」(1)

…大型スクリーンを4面使用して、朝礼時に作業内容、立入禁止区域・安全通路を投影することで、判りやすく情報伝達を図っている。日々の安全巡回については危険に応じた順位付けを行い、写真掲示を行うことで情報の共有化を図っている。



朝礼時の指摘事項の見える化



指摘事項の順位付けおよび見える化

②情報の「見える化」(2)

…他作業所での災害事例を休憩所等に掲示し、情報共有と類似災害発生防止を図っている。また、夏季は朝礼で当日の熱中症指数の発表と掲示を行うことで判りやすく注意喚起を図っている。



災害事例の見える化



熱中症発生防止のための見える化

③安心・快適の「見える化」(1)

…作業員が安心して作業できるよう様々な取組みを実施している。夏季には朝礼場、場内休憩所にミストシャワーの設置、場内各所に「中之島オアシス（冷房完備の小部屋）」を設置し、設備に視覚的な効果も加えながら熱中症発生防止活動を行っている。



涼しさも演出する
朝礼場のミストシャワー



視覚的にも涼を感じる
中之島オアシス

③安心・快適の「見える化」(2)

…夏季には職員・職長で「熱中症バスターズ」を結成し、現場を巡回することで強制飲水の実施と注意喚起を行っている。また、毎月「感電バスターズ」による巡回を実施し、絶縁測定、感電防止指導を行っている。



熱中症バスターズの巡回



感電バスターズの巡回

④体感教育・災害事例紹介による危険の「見える化」

…墜落体感教育や災害事例紹介を実施し、実際にどのような危険があるか自分の目、耳で確認することで情報に対する理解を深める一助としている。



墜落体感実験の実施



スクリーンでの災害事例紹介